

自然が一番！

はるまま（福島県）

東日本大震災と原発事故から一年半。私の住む福島は、世界の『フクシマ』になってしまいました。放射能の影響で、外遊びが出来なくなった子ども達。閉鎖されたたくさんの公園。悲しい現実ばかりで、私達ママも重苦しい日々を過ごしていました。

外遊びが大好きな我が子。

「どうして外で遊んじゃだめなの？」

「どうして土に触っちゃだめなの？」

たくさんのどうして？に明確な答えも出せず、ただただ、耐える日々でした。

震災以後、遊び場を求めて出会った子育て支援のたんぼサロン。広い室内に心

実に涙をこらえ、「今日の葉っぱやどんぐりは、遠くからきたんだよ。放射能ついてないよ。だから触っても大丈夫！」と言い、落ち葉プールに飛び込ませました。その嬉しそうな姿！キャー！と喜ぶ声。当たり前が、ほんの少し戻った気がしました。

他にも、どんぐりや松ぼっくりを使った工作、竹を使った竹ぼっくりでのお散歩、みんなでダッシュユ！など、本当に盛りだくさんのイベントで、たくさんの笑い声に包まれました。

最後にみんなで一緒に落ち葉をバードの上に飛ばしました。ハラハラと舞うたくさんの落ち葉を見ていたら、なんだか沈んでいた気持ちまで飛んでいったような気持ちになりました。

福島の今は、まだまだ安心して過ごせる環境ではないと思います。でも、こうして支援してくれる人がいると思うと、

のこもった手作りおもちゃ。絵本もたくさん。同じ気持ちを抱えたたくさんのママや子ども達と出会い、自分はひとりじゃないんだと感じました。たんぼぼに行くのと、私の3歳と2歳の息子は元氣いっぱいに見え、たくさんたんぼぼで見せてくれます。震災以後、家で遊んでばかりいたので、久しぶりに見た笑顔はとても眩しかったです。

そして、たんぼぼサロンの企画で開催された『しぜんと遊ぼう』。外遊びが出来ない子ども達の為に、神戸や宮崎の支援者の方から送られたたくさんの葉っぱやどんぐり！これを体育館にひろげて思いっきり遊ばせてもらいました。80名程の参加者が集まり、みんな思い思いに自然と触れ合いました。本当に素晴らしかったです！

久しぶりに触る落ち葉。子どもは、「放射能はないの？触っていいの？」と心配そう。そんなことを幼い子に言わせる現

本当にありがたかったです。子育て支援の場所は、子ども達はもちろんですが、私達ママもすごく救われます！

これからもたんぼぼに支えられ、みんなと一緒に頑張って行きたいです。

しぜんと遊ぼうのスタッフの皆さん、支援してくれた方々、本当にありがとうございました！

